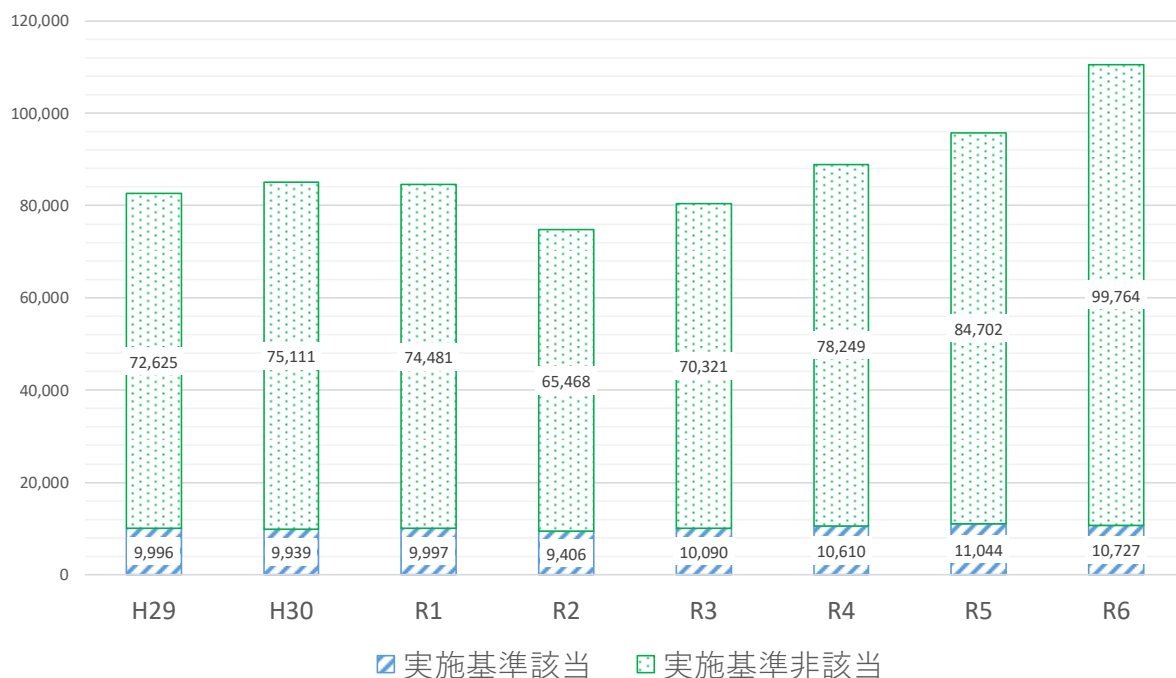


## 実施基準に基づく傷病者の搬送・受入状況

### 1 総搬送人員に占める実施基準該当の人数及び割合

(1) 令和6年の実施基準該当の搬送人員は、10,727人で前年比317人減

(2) 総搬送人員（転院搬送除く。）に占める割合は、9.7%で前年比▲1.8



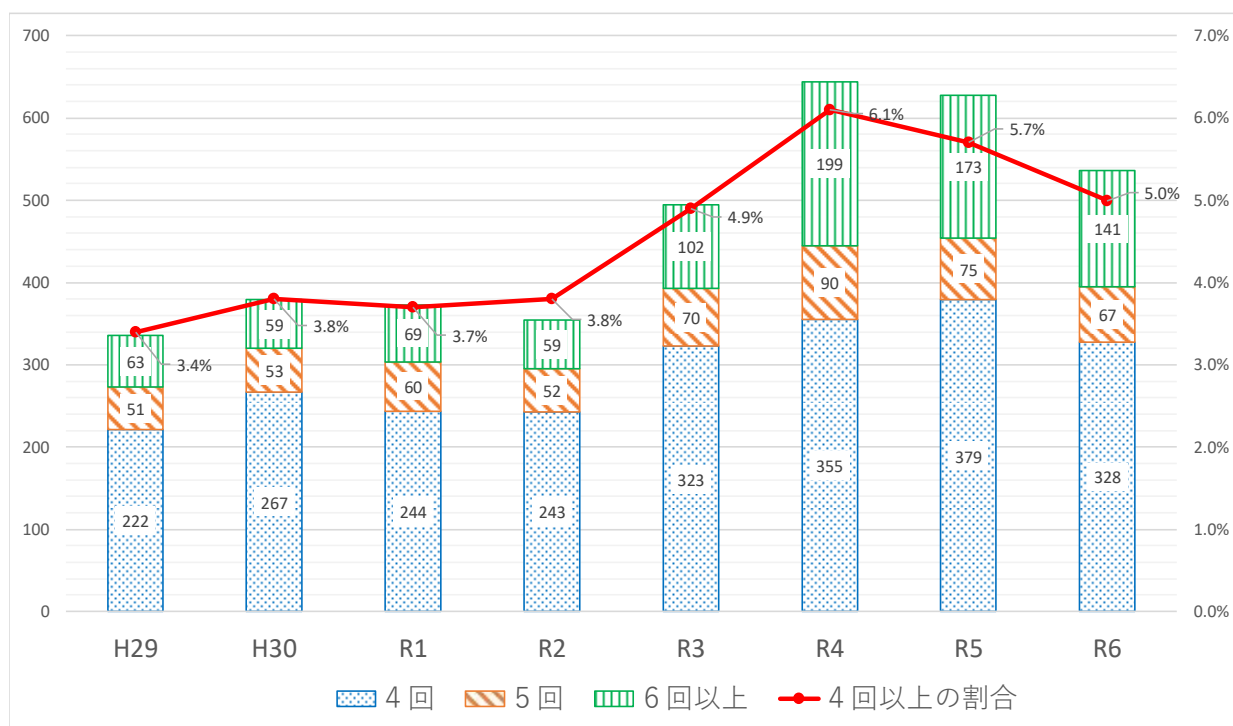
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
A 搬送人員数（転院搬送除く）	82,621	85,050	84,478	74,874	80,411	88,859	95,746	110,491
B 実施基準該当搬送人員	9,996	9,939	9,997	9,406	10,090	10,610	11,044	10,727
B/A 実施基準該当の割合	12.1%	11.7%	11.8%	12.6%	12.5%	11.9%	11.5%	9.7%

## 2 分類基準別の搬送人数

実施基準該当の搬送人員		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
分類基準の項目										
緊急性	重篤	4,646	4,482	4,594	4,240	4,618	5,083	5,210	5,173	
	脳卒中 疑い	くも膜下出血疑い・t-PA適 応ありの疑い	1,711	1,838	1,828	1,806	1,908	1,817	1,921	1,798
		t-PA適応なしの疑い	1,455	1,426	1,432	1,414	1,491	1,500	1,577	1,464
	心筋梗塞疑い	901	983	873	905	956	1,100	1,153	1,095	
	重症・中等症外傷疑い	1,103	1,031	1,061	904	962	906	961	993	
	小計①	9,816	9,760	9,788	9,269	9,935	10,406	10,822	10,523	
専門性	重症度・緊急度の高い妊産婦	10	10	9	6	6	14	4	5	
	重症度・緊急度の高い小児（重篤）	47	41	48	23	28	38	52	41	
	重症度・緊急度の高い小児（重症）	51	62	82	49	42	64	61	78	
	小計②	108	113	139	78	76	116	117	124	
特殊性	精神疾患	72	66	70	59	79	88	105	80	
	小計③	72	66	70	59	79	88	105	80	
合計（①+②+③）		9,996	9,939	9,997	9,406	10,090	10,610	11,044	10,727	

## 3 照会回数4回以上の搬送人員と割合の推移

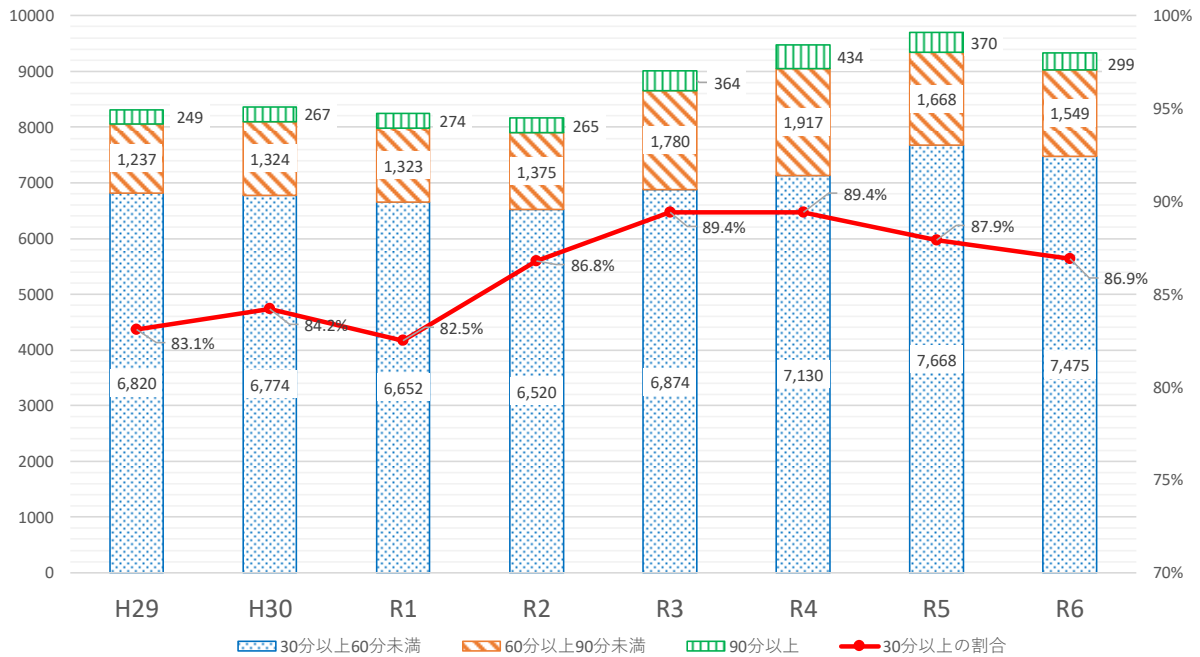
照会4回以上の割合は前年比▲0.7。照会4回、5回、照会6回以上の件数は全て減少。また、最多照会件数は15回（R5の最多回数：27回）。



#### 4 覚知から医療機関収容までの時間 30 分以上の搬送人員及び割合の推移

30 分以上の件数および事案数共に減少しており、30 分以上の割合も、87.0%で前年比▲0.9。

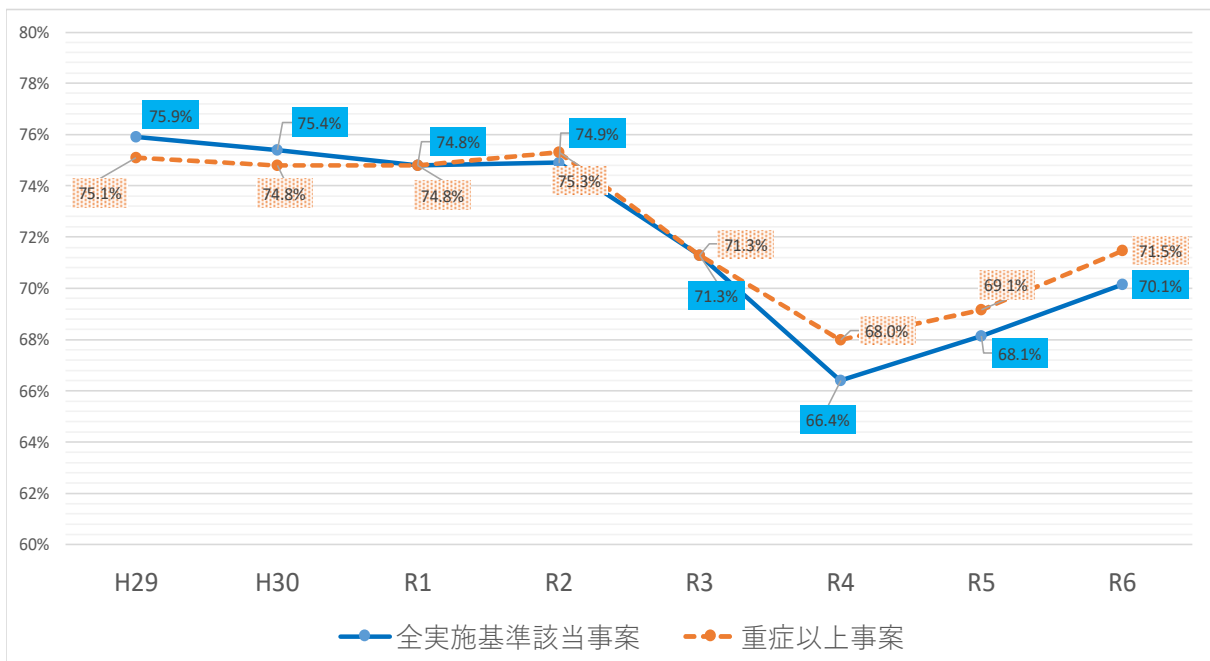
(30 分以上 60 分未満 : 69.4→69.7%、60 分以上 90 分未満 : 15.1→14.4%、90 分以上 : 3.4→2.8%)



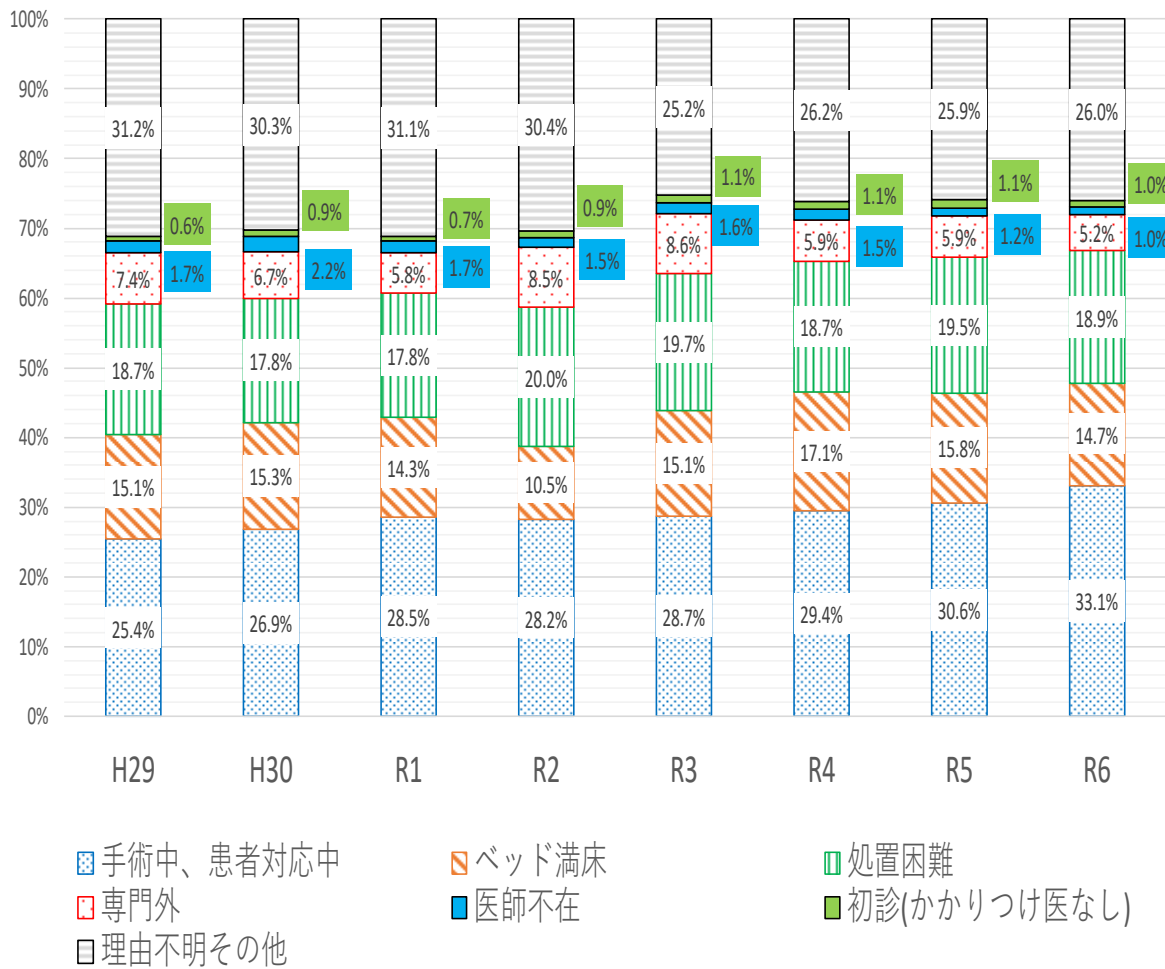
《平均収容時間の推移》

搬送時間	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全実施基準該当事案	0:45	0:46	0:45	0:46	0:48	0:48	0:47	0:46
全搬送事案	0:44	0:45	0:44	0:45	0:46	0:48	-	-

#### 5 傷病者の受入率の推移



## 6 受入れに至らなかった理由別構成比の推移



## 7 令和6年中における傷病者の搬送・受入状況の変化に対する主な意見

### 【消防機関】

意見
県央地域の医療再編に伴い、照会回数は減少した。
地域の基幹病院に対し、受入実施基準について再周知を行い、病院連絡時間が短縮傾向にある。
県央基幹病院開院後に大きく変化しました。

【医療機関】

意見
搬送・受入件数の減少【R5】633件 ⇒ 【R6】568件
整形外科の拘束がなく、整形外科関連の傷病者の受け入れが困難であったが、現在は電話相談が可能であり、傷病者の状態によっては受け入れ可能となっている。
前年度に引き続き受入数が増加している。
令和6年度と令和5年度を比較すると、要請件数が197件増加、受入件数も177件増加増加した。
2023年 2,526件 2024年 2,777件 受け入れは増加した。
医療再編により、病院機能が決まり、夜間休日の救急は他を案内している。
病院開設に伴い、救急要請が減少した。当院の機能が移転し、対応できる患者層が変化した。
3%増加した
病院開院に伴う機能分担に伴い、当院では夜間・休日の救急搬送患者を原則受け入れないこととなった。その結果、夜間・休日の救急搬送患者数は前年度比で250件弱減少した。
消防と情報交換をし、お互いの状況を把握できた。実施基準を明確に伝達することで受入時間は短縮傾向にある。
軽症患者の割合が増加した。
搬送数が増えた。
搬送件数 令和5年度475件 令和6年度465件（前年比▲10件）
地域内の救急出動件数が増えたため、当院の救急車受け入れ件数が増加した（救急車受け入れ件数：令和5年度 約3400件 → 6年度 約4000件）
軽・中等症の高齢者の救急搬送が増えている